

診断群分類データを用いた秋田県の医療分析 – 高度医療の現状 –

平成 28 年 2 月

秋田大学地域医療政策学講座

【目的】

秋田県の病院の医療機能を把握することは、効率的な医療提供体制の構築、今後の病床利用計画において重要である。今回、我々は厚生労働省が公開している DPC データを用い、高度医療に関する秋田県の病院別患者数を集計し、秋田県の高度医療の現状把握と検討を行った。今回は、主に 5 大がんと循環器疾患について集計を行った。

【方法】

厚生労働省のウェブサイトにて公開されている中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織の資料 (DPC 評価分科会資料) を用いて、データを厚生労働省に 12 か月提出している秋田県内の病院 (DPC 対象・準備病院、出来高算定病院) を対象に、1. 手術、救急車搬送、放射線療法、化学療法の提供、2. 5 大がんの治療提供、3. 循環器疾患の治療提供について集計を行った。

1. 手術、救急車搬送、放射線療法、化学療法の提供

秋田県の医療機関毎の手術 (全身麻酔とは限らない)、救急車搬送、放射線療法、化学療法、全身麻酔医療が行われた症例について、集計を行った。また、病院毎の総症例に対する各医療提供の割合を示した。

2. 5 大がんに関連する治療提供

秋田県の病院の 5 大がんに関連する 5 つの臓器の悪性腫瘍の治療症例数の集計を行った。悪性腫瘍ごとに、秋田県全体の症例数に占める病院の症例割合を示した。また、5 つの悪性腫瘍の治療を 10 症例以上提供している 16 病院において、疾患別、手術手技別に全県における施設毎の症例数を集計し、それぞれ県全体における割合を求めた。但し、各悪性腫瘍は、続発性を含んでおり、各腫瘍・病状・手術手技によっては、根治的治療の目的ではない症例を含んでいる可能性がある。

3. 循環器疾患の治療提供

秋田県の循環器疾患の医療提供状況を示すため、高度医療を要する循環器疾患別の治療、施設毎の秋田県に占める症例割合の集計を行った。

なお、厚生労働省公開データは症例数が 10 に満たない場合は開示されていないため、割合等を求める際には便宜的に患者数を 0 としている。

【結果・考察】

1. 高度医療の提供

図 1 の秋田県内の各病院における高度医療受療数より、秋田大学附属病院は救急車搬送を除いて、化学療法、放射線療法、全身麻酔の件数が多かった。救急車搬送症例は、秋田赤十字病院が最も多く、次いで平鹿総合病院であった。秋田大学附属病院の次に、化学療法の症例数が多かったのは、大曲厚生医療センター、次いで秋田赤十字病院であった。また、同様に放射線療法では秋田赤十字病院、平鹿総合病院の順で、全身麻酔は秋田赤十字病院、秋田厚生医療センターの順で症例数が多かった。

表 1 では、各病院の総症例に対する各高度医療の割合を示した。DPC 対象病院Ⅲ群 (全国平均) の手

術、化学療法、放射線療法、救急車搬送のいずれか有の症例の割合は 61.7%であるが、秋田県では、秋田赤十字病院を除いてすべてのⅢ群病院で下回っていた。特に、秋田周辺医療圏を除く二次医療圏の中核病院では、大曲厚生医療センターを除いて全身麻酔件数の割合が平均の 18.7%を下回っていた。また、18 病院のうち、6 病院では放射線療法がおこなわれておらず、秋田県脳血管研究センターを除いて、全身麻酔件数が 500 未満の病院では放射線治療が行われていなかった。

2. 5 大がんに関連する治療提供

秋田県における施設毎の 5 つの悪性腫瘍別症例割合、5 つの悪性腫瘍に対する根治的手術等の実施割合をそれぞれ、表 2、図 2 に示した。(それぞれの図表は秋田県全体に占める割合を示している。) 二次医療圏毎にみると秋田県における 5 大がんに関連する根治的手術等による治療は、秋田周辺地域で実施されている割合が高かった。一方、北秋田と湯沢・雄勝医療圏では他医療圏と比較すると根治的手術治療の実施割合・手術の種類が少なかった。

県北・県南地域では肝臓の悪性腫瘍に対する根治的手術等はほとんど実施されていなかった。また、県北地域では、肺の悪性腫瘍に対する根治的手術等の実施割合が他地域と比較すると低かった。但し、肝臓と肺は、他の 3 つのがんと異なり手術治療の割合が低く(それぞれ秋田県がん登録報告より手術の実施割合は 18.9%、28.9%と報告されている。)、転移性悪性腫瘍の発生が多いことが知られている。

3. 循環器疾患の治療提供

表 3. 高度医療を必要とする循環器疾患別、施設毎の秋田県に占める症例割合をみると秋田県内では平鹿総合病院が最も症例数が多く、急性心筋梗塞に対する PCI 等の処置数も最も多かった。次いで循環器疾患症例数の多い中通総合病院と秋田大学附属病院では、心臓外科手術も多く実施されており、2 病院の症例を合計すると、県内のそれぞれの心臓外科手術症例の半数以上を占めていた。一方、県北地域では、表中で示したすべての循環器疾患医療の症例数が 10 未満であった。「診断群分類データを用いた秋田県の医療分析 ―二次医療圏における現状―」で報告されたように、県北地域の二次医療圏では MDC05 循環器系疾患では 20-50%の患者流出が推測されていた結果を支持するものであった。

【まとめ】

秋田県における高度医療は、疾患毎に病院の医療機能に差が認められた。

秋田県の悪性腫瘍の治療は疾患毎に治療の実施分布が異なっており、根治的治療の対策については、二次医療圏レベルだけでは、対応できない疾患もあることがうかがえた。循環器疾患については、県北地域での医療機能の充実が必要と考えられた。また、北秋田と湯沢・雄勝医療圏は、多くの MDC 疾患群で患者流出が前回報告されたように、高度医療に関しても十分な医療機能を有していない傾向が見られた。

以上の点を考慮し、今後の人口動態に基づいた効率的な医療提供体制、病床利用計画を検討していく必要があると考えられる。

参考資料

1) 平成 27 年度第 7 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html> (2016 年 1 月 21 日アクセス)

2) 平成 25 (2013) 年秋田県地域がん登録の集計報告 秋田県地域がん登録委員会

1. 手術、救急車搬送、放射線療法、化学療法の提供

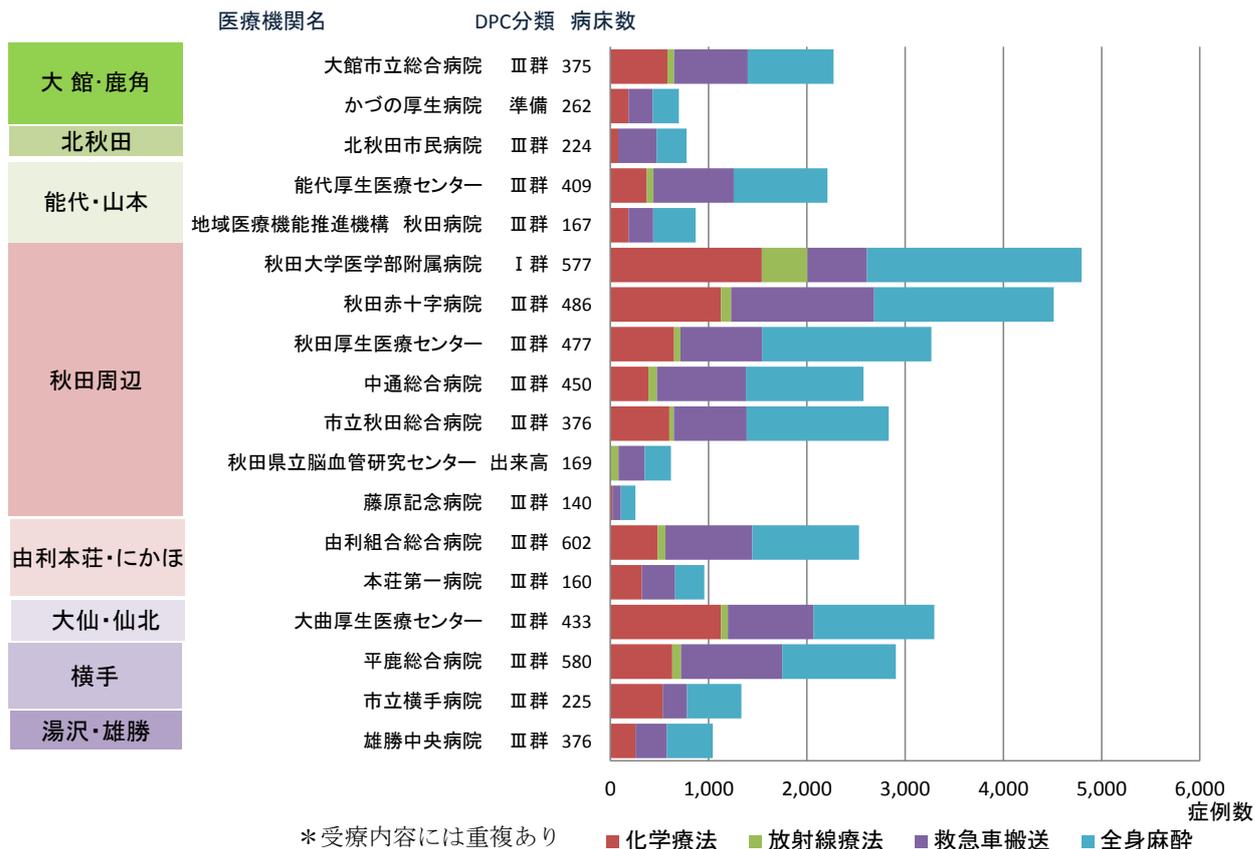


図1. 秋田県内の各病院における手術、救急車搬送、放射線療法、化学療法の提供受療

表1. 各病院の総症例に対する各高度医療の割合

施設名	総症例数	手術、化学療法、放射線療法、救急車搬送					全身麻酔
		手術	化学療法	放射線療	救急車搬	いずれか有	
DPC対象病院Ⅰ群(全国平均)		52.3%	12.0%	2.4%	8.1%	67.8%	26.3%
秋田大学医学部附属病院	8644	50.6%	17.8%	5.4%	7.0%	71.4%	25.3%
DPC対象病院Ⅱ群(全国平均)		49.0%	9.9%	1.6%	15.3%	67.9%	23.0%
秋田県に該当病院なし							
DPC対象病院Ⅲ群(全国平均)		43.7%	7.3%	0.8%	16.1%	61.7%	18.7%
大館市立総合病院	874	39.9%	10.0%	1.2%	12.9%	56.6%	15.0%
北秋田市民病院	305	30.1%	4.3%	0.0%	21.0%	51.3%	16.4%
能代厚生医療センター	955	34.9%	6.8%	1.2%	15.0%	52.9%	17.5%
地域医療機能推進機構 秋田病	432	42.1%	7.7%	0.0%	10.3%	56.4%	17.8%
秋田赤十字病院	1828	44.2%	11.9%	1.1%	15.4%	65.2%	19.3%
秋田厚生医療センター	1722	42.4%	7.8%	0.8%	10.0%	57.0%	20.8%
中通総合病院	1197	43.3%	5.7%	1.3%	13.3%	57.8%	17.6%
市立秋田総合病院	1445	41.8%	8.6%	0.7%	10.7%	55.4%	20.8%
藤原記念病院	147	25.6%	1.6%	0.0%	6.8%	32.5%	11.4%
由利組合総合病院	1089	36.2%	6.0%	1.0%	11.1%	49.8%	13.7%
本荘第一病院	298	36.6%	10.7%	0.0%	11.3%	55.6%	9.9%
大曲厚生医療センター	1228	34.1%	17.2%	1.1%	13.3%	60.2%	18.8%
平鹿総合病院	1156	37.3%	8.1%	1.2%	13.2%	54.0%	14.8%
市立横手病院	552	44.8%	13.8%	0.0%	6.5%	61.7%	14.3%
雄勝中央病院	468	29.5%	7.3%	0.0%	9.2%	43.1%	13.5%
DPC準備病院(全国平均)		39.3%	6.4%	0.7%	14.7%	56.4%	16.3%
かつの厚生病院	2410	35.3%	7.7%	0.0%	10.2%	50.8%	11.0%
出来高算定病院(全国平均)		32.9%	4.3%	0.2%	13.6%	47.8%	12.2%
秋田県立脳血管研究センター	265	25.6%	0.0%	6.7%	21.7%	48.7%	21.5%

2. 5大がんに関連する医療提供

表2 5つの悪性腫瘍別、施設毎の秋田県に占める症例割合
各悪性腫瘍の秋田県全体の症例数に占める症例割合を示した。

施設名	胃悪性腫瘍	大腸悪性腫瘍	肝悪性腫瘍	肺悪性腫瘍	乳房悪性腫瘍
○ 大館市立総合病院	7.0%	4.6%	8.8%	3.1%	5.7%
○ かつの厚生病院	1.9%	4.0%	—	1.1%	—
○ 北秋田市民病院	2.4%	0.7%	—	2.0%	—
◇ 能代厚生医療センター	5.2%	3.3%	3.7%	1.9%	2.0%
◇ 地域医療機能推進機構 秋田病院	3.4%	3.2%	—	—	3.8%
◎ 秋田大学医学部附属病院	6.5%	2.0%	22.8%	13.9%	10.1%
○ 秋田赤十字病院	12.8%	13.8%	7.7%	20.4%	19.4%
○ 秋田厚生医療センター	14.3%	7.7%	8.1%	9.6%	8.6%
◆ 中通総合病院	6.8%	5.3%	6.9%	8.3%	8.2%
◆ 市立秋田総合病院	6.5%	5.2%	14.7%	5.6%	11.7%
◇ 由利組合総合病院	5.6%	3.3%	1.6%	8.7%	4.0%
◇ 本荘第一病院	3.1%	7.8%	1.3%	0.7%	1.2%
○ 大曲厚生医療センター	8.0%	21.3%	9.7%	8.6%	9.5%
○ 平鹿総合病院	6.9%	2.9%	6.8%	13.5%	7.8%
○ 市立横手病院	7.4%	11.1%	6.6%	0.8%	4.0%
◇ 雄勝中央病院	2.4%	3.6%	1.4%	1.8%	3.9%
◇ 秋田県立脳血管研究センター	—	—	—	—	—
◇ 藤原記念病院	—	—	—	—	—
計(秋田県全体)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

◎：都道府県がん診療連携拠点病院，○：地域がん診療連携拠点病院，

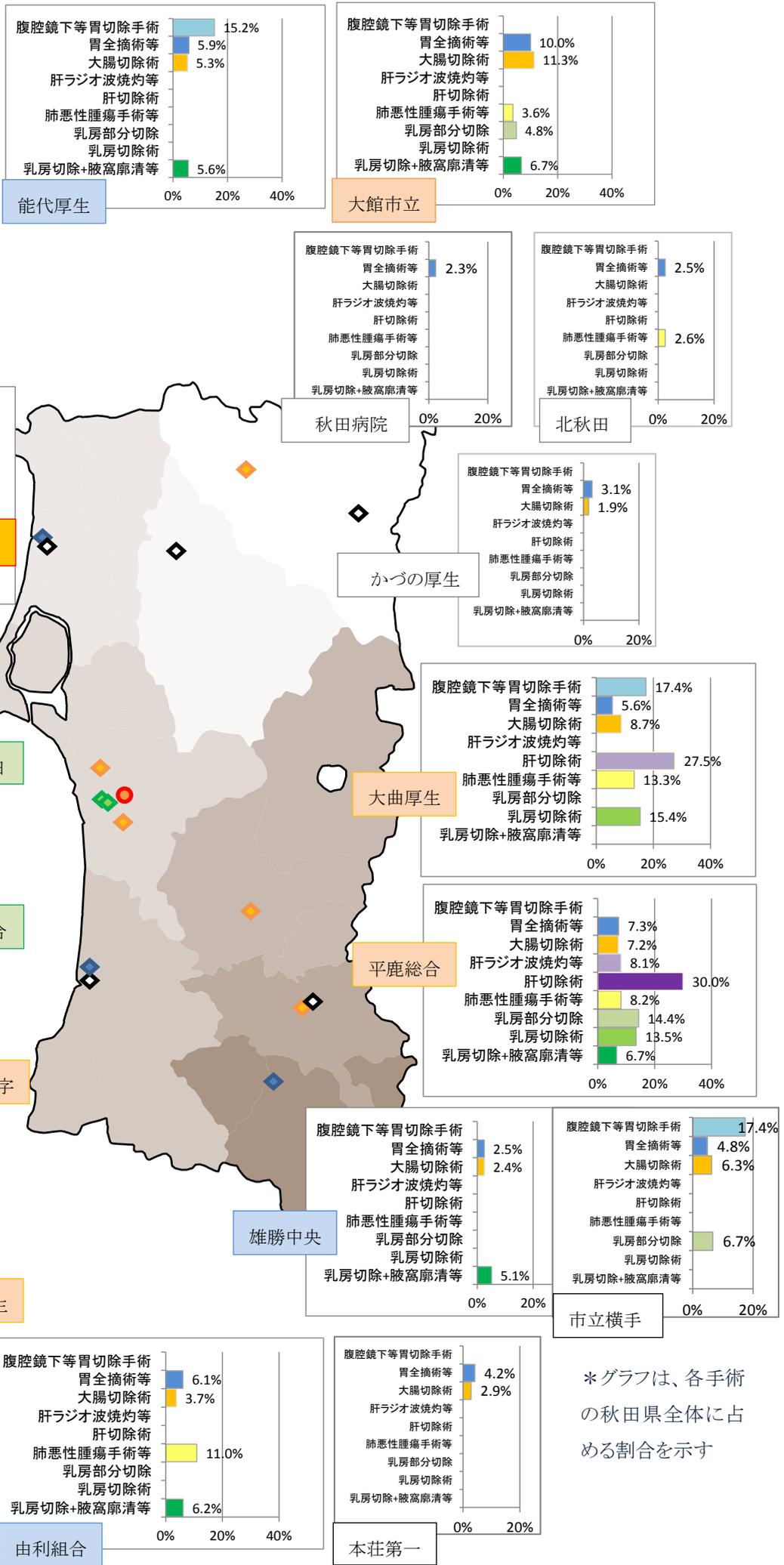
◇：地域がん診療病院，◆：がん診療連携推進病院

10 症例未満は—で示す

図2

秋田県における 5つの悪性腫瘍に対する 根治的手術等の実施割合

- 都道府県がん診療連携拠点病院
- ◆ 地域がん診療連携拠点病院
- ◆ 地域がん診療病院
- ◆ がん診療連携推進病院
- ◆ その他



*グラフは、各手術の秋田県全体に占める割合を示す

3. 循環器疾患の治療提供

表3. 高度医療を必要とする循環器疾患別、施設毎の秋田県に占める症例割合

各高度医療を必要とする循環器疾患別の秋田県全体の症例数に占める症例割合を示した。

施設名	MDC05	急性心筋梗塞	慢性虚血性心疾患	弁膜症	解離性大動脈瘤	非破裂性大動脈瘤
	循環器系疾患	PCI等	CABG等	弁形成・置換術	心外科手術	大動脈瘤切除術
大館市立総合病院	211	—	—	—	—	—
かづの厚生病院	104	—	—	—	—	—
北秋田市民病院	129	—	—	—	—	—
能代厚生医療センター	402	—	—	—	—	—
地域医療機能推進機構 秋田病院	125	—	—	—	—	—
秋田大学医学部附属病院	649	8.8%	52.8%	32.5%	100.0%	51.2%
秋田赤十字病院	508	18.0%	—	—	—	—
秋田厚生医療センター	621	10.8%	—	—	—	—
中通総合病院	744	13.7%	47.2%	37.3%	—	25.6%
市立秋田総合病院	503	6.9%	—	—	—	—
秋田県立脳血管研究センター	—	—	—	—	—	—
藤原記念病院	94	—	—	—	—	—
由利組合総合病院	701	15.0%	—	—	—	23.3%
本荘第一病院	211	—	—	—	—	—
大曲厚生医療センター	309	5.2%	—	—	—	—
平鹿総合病院	978	21.6%	—	30.1%	—	—
市立横手病院	88	—	—	—	—	—
雄勝中央病院	87	—	—	—	—	—
計	6464	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%